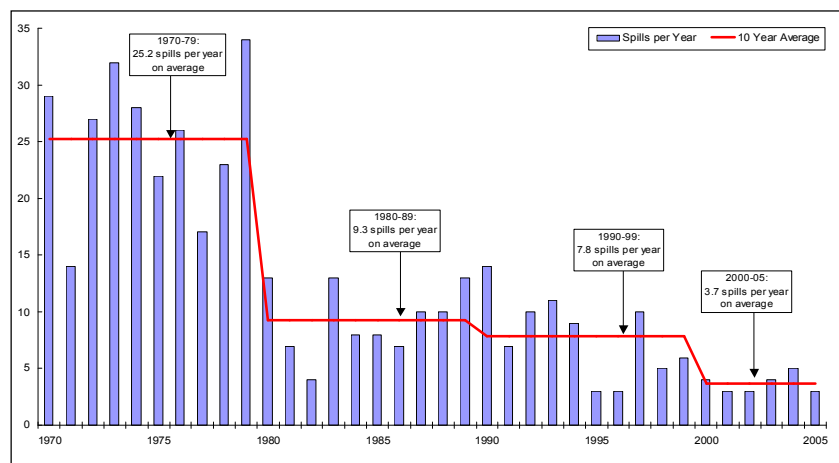


## アジアに焦点をあてた IPECAの最近の活動

クリス・モリス (国際石油産業環境保全連盟)  
2007年2月

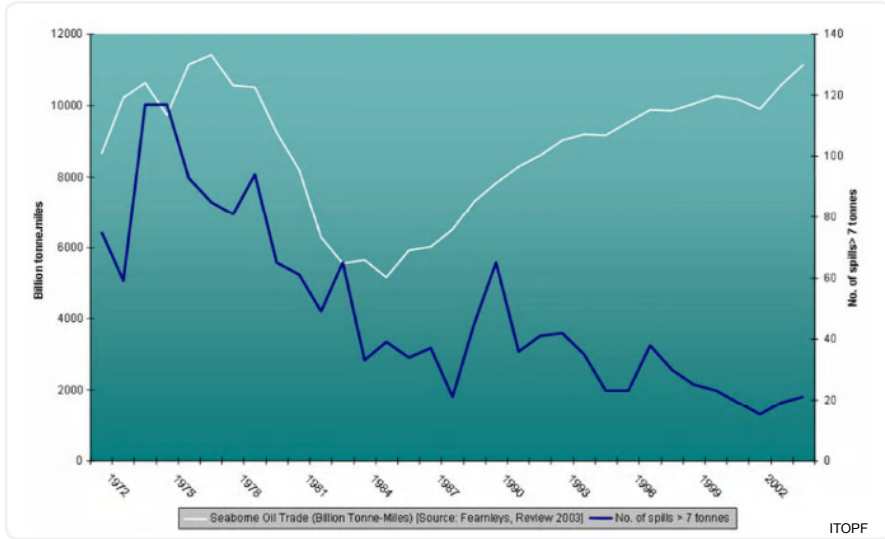
### タンカーによる油流出 - 35年の軌跡

700トン超の油流出件数



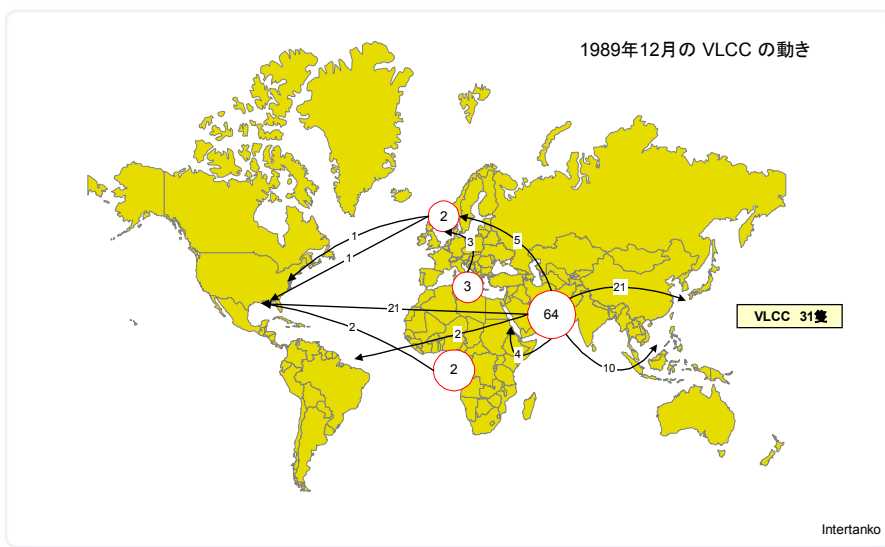
IPOPF

## 海上輸送による石油貿易量 1972 - 2004



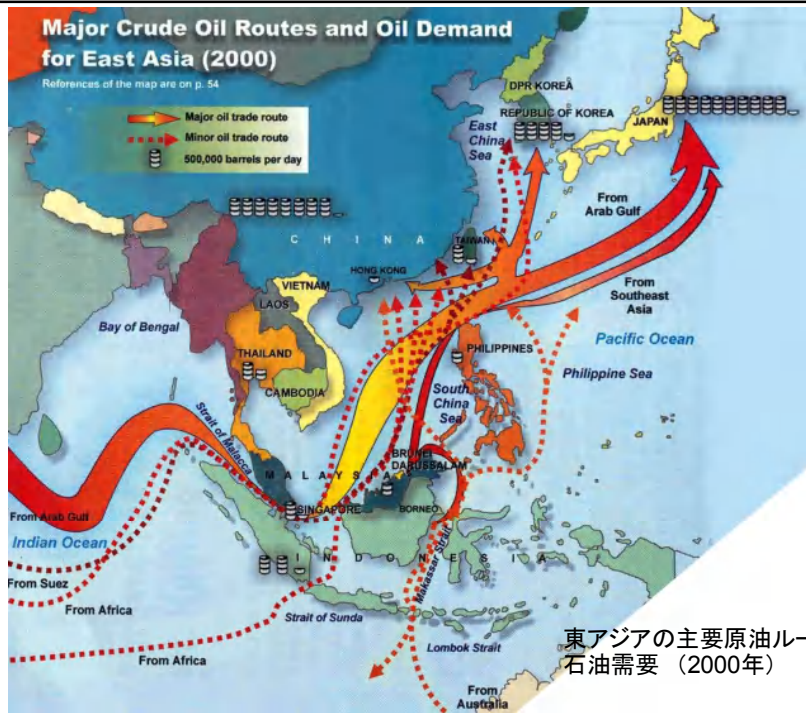
3

## 変化するエネルギー輸送パターン - 1989

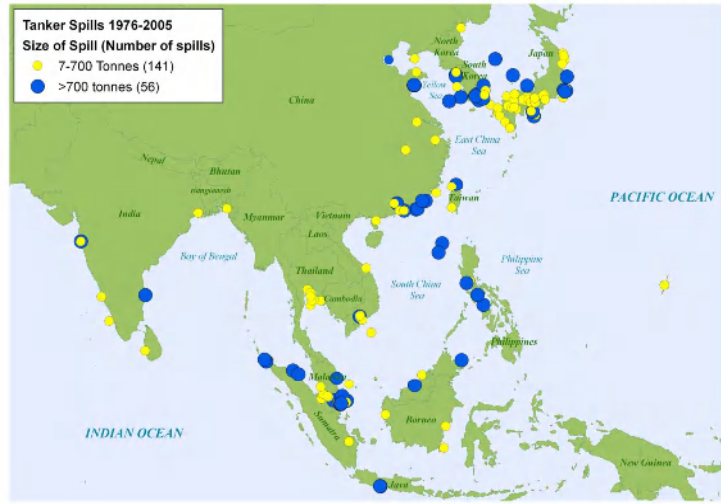


4

# 変化するエネルギー輸送パターン - 2006

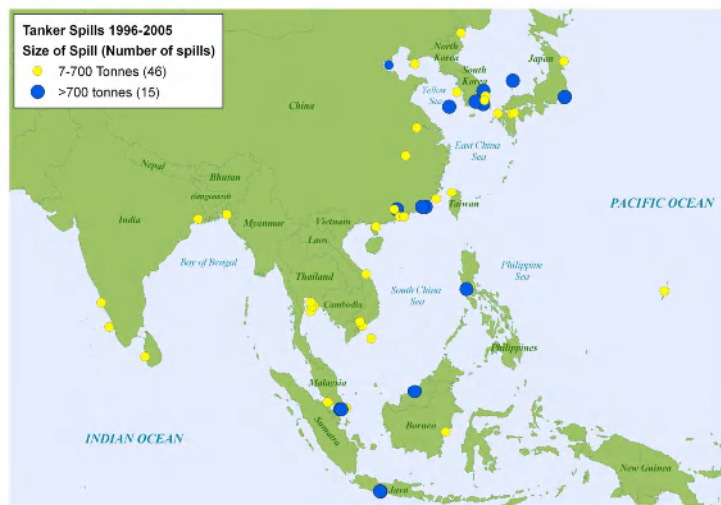


## アジア地域のタンカー油流出: 1976 - 2005



7

## アジア地域のタンカー油流出: 1996 - 2005



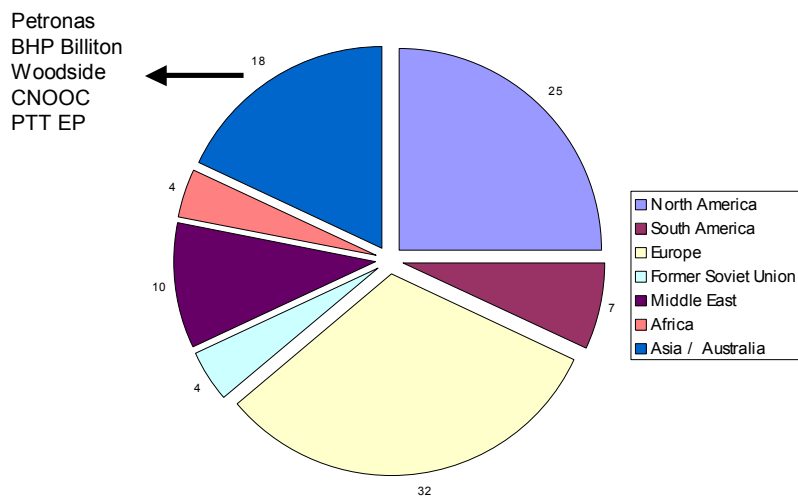
8

## 2004年以降のオイル・スピル・ワーキンググループ(OSWG)の活動



9

## 世界に広がる IPIECA のメンバー



10

## IIPECA 紹介



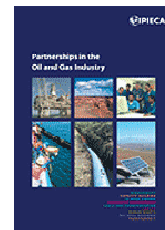
- 全世界の石油業界・ガス業界の環境活動及び社会活動の促進を図る協会
  - 1974 年創設
  - 国営及び多国籍会社 29 社; 団体 12
- 国連及び国際機関との協力
- 地球規模の課題に挑戦:
  - 気候変動
  - 生物多様性
  - 社会的責任
  - 油流出に対する準備と責任
  - 健康
  - 作業上の課題、燃料と製品に係る課題
  - 持続可能性に係る報告

11

## IIPECA の達成目標



- 問題の経緯に関する情報をメンバーに提供
- メンバーの見解を代表
- 以下のことにより、共有すべき実務慣行を育て、業界の業績向上を図る:
  - 国際的なワークショップ
  - 権威ある報告書
  - 国連との連絡窓口
  - 開かれた対話のためのフォーラム
  - 利害関係者の参加
  - パートナーシップ – 例. グローバル・イニシアティブ (GI)



12

## OSWGと国際的なパートナー



13

## OSWG 活動の焦点



- 流出油の清掃に伴う損害を最小にする  
– 総合環境影響評価 (NEBA)
- 段階的対応と言う考え方の普及促進;
- 国内、或いは地域国際間での以下の活動の支援
  - 国際条約 (油汚染に関する準備、対応及び協力に関する条約(OPRC); 民事責任条約CLC、基金条約FC)
  - 油汚染に関する準備及び対応に関する地域国際協定



14

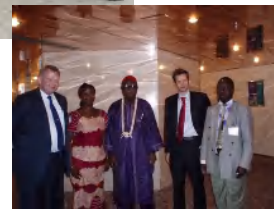
## IMO/IPIECA のグローバル・イニシアティブ



- IMO/IPIECA のグローバル・イニシアティブ (GI) による連携が目標とするところは、油流出事故のリスクに曝されている開発途上国の海洋及び沿岸資源を保護する能力を増強し、維持することにある。

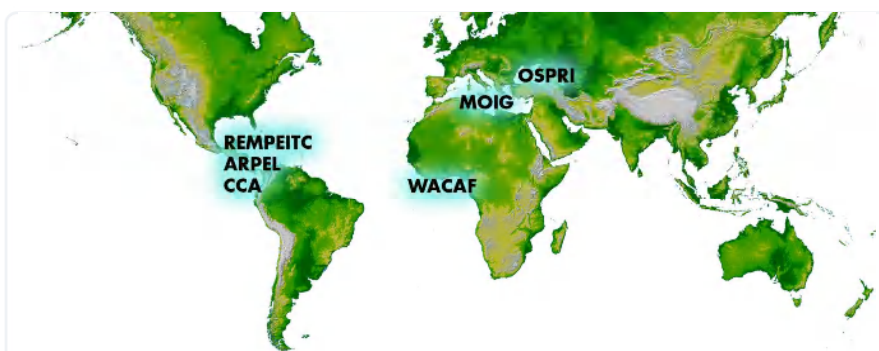
- 方法:

- IMO による政府へのてこ入れ
- IPIECA による業界へのてこ入れ
- IPIECA の報告書シリーズ（数ヶ国語で発行）
- 共同のワークショップと訓練セッション
- 持続的なフォローアップと調整



15

## グローバル・イニシアティブ (GI) の地域での協力



- 地中海 – MOIG (Ridha Dhaoui)
- 西及び中央アフリカ – WACAF (Philippe de Susanne)
- 黒海及びカスピ海 – OSPRI (Peter Taylor)
- カリブ海 – ARPEL/CCA/REMPEITC

16



## 地域国際レベルでのグローバル・イニシアティブ



- 高いレベルでのGI目標は、地域国際及び国家レベルでのみ推進することが確かなものとなる
- GIの持続可能性と成功は、多様な活動地域における以下のことを通じて保持される
  - 世界の重点地域で、**専任の担当者**がフォローアップ作業を行う
  - 国家緊急時対応計画の実施に関して直接の責任を持つ人々に加え、**政府と業界の最高レベルの政策決定者、経営者から積極的な支援**を受ける

17

## 北京におけるGIワークショップの勧告



- 全般的勧告
  - 国家レベルでの審議検討の場を作る
- 緊急時対応計画
  - 国家計画間の相互適応性
  - 補償制度
  - 有害危険物質(HNS)
- 流出への対応準備
  - Tier 3 対応準備の明確化
  - 第三者の流出に対する国家対応体制の支援
  - IPIECAによるTier 2 体制の強化支援
- 対応能力増強
  - 合同演習を含む合同訓練の機会
  - IMOの支援による中国の計画とNOWPAPの統合

18

東アジア海域(EAS)会議 2006年12月 海南省 海口



19

2006年 EAS 閣僚級会合の勧告



「油流出準備・対応及び協力のための国内・地域国際間の能力を育成し、維持することを主眼とし、IMO とIPIECA のグローバル・イニシアティブ (GI) の精神に則り、海事管理当局と業界団体の間の調整と協力により重きをおくべきである」

20

北西太平洋行動計画 海洋環境 緊急時 準備対応  
地域行動センター (NOWPAP MERRAC Region)



21

アセアン石油会議 (ASCOPE) の加盟会社




- ASCOPE の加盟会社



## スピルコン 2007 の並行イベント



- IMO/IPIECA 地域ワークショップ
- オーストラリア パース2007年3月26日 
- 東アジア海域における油流出への準備と対応
  - 能力増強のための戦略開発
- ワークショップの目的:
  - 地域や諸国の代表から当該地域の持つリスクと、対応能力増強の機会について直接情報を収集する
  - 東アジア海域会議での勧告に基づき、地域の準備体制を強化する積極的な対策を具体化する
  - 更なる能力増強について可能なイニシアティブを議論する

